

鳥取県東部における縄文時代～江戸時代の 森林の変遷と 木材利用

参加費
無料
定員60名

因幡地域の森林とその利用の足跡をたどる

2025.8.9(土)
13:30～15:30 (開場 13:00)

とりぎん文化会館
2階 第2会議室
(鳥取市尚徳町101-1)

講 演

鳥取西道路の発掘調査からみえる
因幡地域の森林植生と木材利用

講師 中原 計 氏
(鳥取大学地域学部准教授)

ディスカッション

鳥取いにしえの木の文化
～因幡の人々の木材利用～

中原 計 氏
下江 健太
(鳥取県埋蔵文化財センター課長補佐)

主催

鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260

電話 0857-27-6711

E-mail : maibuncenter@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>



電子申請サービス ▶

鳥取県東部における縄文時代～江戸時代の 森林の変遷と木材利用

鳥取県埋蔵文化財センターと鳥取大学は、共同研究を行い、山陰自動車道「鳥取西道路」（鳥取市本高～青谷町間）建設に伴う発掘調査で出土した多数の木製品について、樹種同定や年代測定といった科学分析を実施しました。こうした分析を通して、鳥取県東部（因幡地域）の縄文時代から江戸時代にかけての植生環境の変遷や木製品の木材調達における樹種の選択性について研究を行ったところです。この特別講座では、研究を主導していただいた中原 計准教授にこのたびの研究成果について御講演いただくとともに、当埋蔵文化財センターの下江課長補佐とのディスカッションで因幡地域の人々が生業や暮らしの中でいかに森林資源を巧みに利用していたのか、その実態について迫ります。



〔講師〕

中原 計 氏

鳥取大学地域学部地域学科 国際地域文化コース 准教授

〔専門分野〕 木材利用史の環境考古学的研究

〔略歴〕 1976年 大阪府生まれ

2008年 大阪大学にて博士号取得

2010年より現職

〔主な著作〕

- ・「樹種の特性・分布と利用」『モノと技術の古代史 木器編』2018年 吉川弘文館
- ・鳥取県史ブックレット19『森と生きた人々—鳥取県の遺跡から—』2018年 鳥取県
- ・「植物利用」『古墳時代の考古学8 隣接科学と古墳時代研究』2012年 同成社



〔ディスカッション：パネリスト〕

下江 健太

鳥取県埋蔵文化財センター 課長補佐

〔専門分野〕 日本考古学

〔略歴〕 1975年 広島県生まれ

2001年 岡山大学大学院文学研究科

修士課程修了

2002年より鳥取県文化財主事

2024年より現職

〔主な著作〕

- ・「西日本における縄文時代の水場利用について（上）」『調査研究紀要』8 2017年 鳥取県埋蔵文化財センター
- ・「西日本における縄文時代の水場利用について（下）」『調査研究紀要』10 2019年 鳥取県埋蔵文化財センター



次第

PROGRAM

13:00

開場

13:30

開会／開会挨拶

13:35

講演 「鳥取西道路の発掘調査からみえる因幡地域の森林植生と木材利用」

講師 中原 計 氏

14:35

休憩

14:45

ディスカッション 「鳥取いにしえの木の文化～因幡の人々の木材利用～」

中原 計 氏 下江 健太

15:30

閉会